

新たな100年に向けての挑戦

市制施行100年

明治34年に旧陸軍第七師団が移駐し、旭川は軍都として急速に発展しました。農業、家具、木工をはじめ、多くの新しい産業が興ると同時に、軍人の方々や往来する人々から文化が伝えられ、現在の旭川の礎が築かれました。大雪山から流れる豊かな伏流水により、

今では作付面積・生産量共に道内一の米の産地にまで



JR旭川駅南口に直結する北彩都ガーデン



旭川動物園(上) 旭川家具(下)

旭川市は、地震などの自然災害は全国でもトップクラスに少なく、北海道の拠点都市であ

成長し、かつて「北海の灘」といわれた酒造りは、技術がさらに磨かれ、高品質な旭川の酒は世界中で親しまれています。また、生活必需品から発展してきた家具や木工などの産業は、現在、デザイン創造都市という形の中で花開いています。旭川駅に直結した北彩都ガーデンでは、宿根草など草花が咲き誇る癒しの空間が広がり、大雪山系をはじめとする豊かな自然と、充実した医療や福祉、教育、文化などの都市機能が調和する旭川市は、地震などの自然災害は全国でもトップクラスに少なく、北海道の拠点都市であ

成長し、かつて「北海の灘」といわれた酒造りは、技術がさらに磨かれ、高品質な旭川の酒は世界中で親しまれています。また、生活必需品から発展してきた家具や木工などの産業は、現在、デザイン創造都市という形の中で花開いています。旭川駅に直結した北彩都ガーデンでは、宿根草など草花が咲き誇る癒しの空間が広がり、大雪山系をはじめとする豊かな自然と、充実した医療や福祉、教育、文化などの都市機能が調和する旭川市は、地震などの自然災害は全国でもトップクラスに少なく、北海道の拠点都市であ

り、令和4年には市制施行100年の節目を迎えました。市民と切り拓け！アイデアいただきます

本市も全国の例に洩れず、人口減少、特に若年層の人口流出が進む中、若者たちが働きやすい子育て支援策や、女性活躍を後押しする施策の充実、そして日々の暮らしがワクワクするまちづくりが重要と考えます。そのため、私が就任してから、市民と話し合い、2030年の旭川の未来想像図を描く「旭川未来会議2030」を創設し、事業の改善や拡充につなげてきました。令和4年10月に開設した子育て世代包括支援センター「waka・Da」の名称のほか、施設全体の壁や天井などの色や柄、立体駐車場



旭川未来会議2030 6分野58人の皆さんと

ているのか、私から積極的に伺い、施策に反映します。

きつと、うまく(旨く)いく

家具・木工などの特長ある産業や、長年にわたる地域のデザイン性向上への取り組みが評価され、本市は令和元年にユネスコ創造都市ネットワーク(UCCN)(加盟都市295都市)にデザイン分野で加盟認定を受けました。令和4

との連絡通路の安全対策にも意見をとり入れました。令和5年度も環境、子育て、女性活躍、文化、ものづくり、障がい者スポーツの6分野を設定し、参加する多くの若者や女性からも、市民がこのまちに対してどのような思いを持っているのか、私から積極的に伺い、施策に反映します。



旭川ラーメン（左上）、新子焼き（右上）
塩ホルモン（左下）、地酒・地ビール（右下）

ン、食産業や観光客の誘致など、「食」を中心に据えた地域産業の振興を進めます。ぜひ、デザイン思考により磨かれた「食」のまち旭川に越してください。

年7月にブラジルのサントス市で開催された総会では、まちの魅力を世界に発信し、令和5年3月にオーストラリアで開催されたUC CNにデザイン分野で加盟する43都市による分野別会議では、令和6年の旭川開催に向けて立候補したところです。

令和5年度は、新たに「(仮称)フードフォレスト旭川構想」を立ち上げます。本市には米をはじめ、野菜、果樹などの安心・安全で豊かな食材があり、旭川ラーメンや市民のソウルフードである新子焼き(若鶏の半身焼き)、塩ホルモンなど、ご当地グルメも数多くあります。構想では、専門家などを中心に、デザイン思考により、これらの特性を最大限生かし、商品開発や販路拡大、プロモーション、食産業や観光客の誘致など、「食」を中心に据えた地域産業の振興を進めます。ぜひ、デザイン思考により磨かれた「食」のまち旭川に越してください。

ワン・フォア・オールで圏域活性化

令和4年1月には、近隣の鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町および美瑛町と連携協約を締結し、旭川大雪圏域連携中枢都市圏を形成しました。連携協約により、ゼロカーボン推進や企業誘致推進、ヒゲマ対策、新規就農者の育成など、圏域での課題解決やブランディングにつながる46の事業を進めています。また、令和4年9月に1市8町で羽田空港にて開催した「旭川大雪マルシェ」では、当該催事スペースにおいて過去最高の売り上げを記録し、農畜産品を中心に圏域の特産品や魅力を広くPRしました。



旭川大雪圏域連携中枢都市圏 連携協約調印式

子どもたちの笑顔のために

令和3年3月に本市中学生が遺体で発見された痛ましい事案は、いじめ重大事態として、現在、尾木直樹委員長をはじめとする再調査委員会において真相解明に向けて取り組んでいただいているところです。真相解明と同時に再発防止対策が非常に重要と考え、令和3年12月に視察した大津市、岐阜市、

プロフィール

- ◆ 面積 747.66 km²
- ◆ 人口 32万3781人
- ◆ 世帯数 17万7478世帯

〔市長が目指す将来都市像〕 親子4世代で暮らしていける持続可能なまち

〔まちの特徴〕 ユネスコデザイン創造都市として、デザイン思考により、まちづくりを進めている

〔特産品〕 旭川ラーメン、塩ホルモン、新子焼き、米、地酒、旭川家具



旭川市長
今津寛介



〔観光〕 旭山動物園、あさひかわ北彩都ガーデン、北鎮記念館、三浦綾子記念文学館、神居古潭、嵐山から見た夜景

〔イベント〕 北海道音楽大行進、北の恵み食べマルシェ、旭川夏まつり、旭川冬まつり、バーサーロペットジャパン、旭川デザインウィーク

寝屋川市の取り組みを参考に、4月から市長部局にいじめ防止対策推進部を新設し、市長部局と教育委員会が一体となって、いじめ未然防止対策や、相談体制の充実、問題発生時の迅速な対応を行う「旭川モデル」の取り組みを開始しました。この「旭川モデル」を全国に発信し、全国からいじめをなくし、子どもたちが笑顔で暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

ふるさととしてみんなに愛される まちを目指して

狛江市は、東京都の多摩地域東部、武蔵野台地の南縁部に位置しています。人が住み始めた痕跡は、今から約2万年前の旧石器時代にさかのぼり、また、縄文時代中期以降の住居跡が数多く発見されていて、太古の昔から恵まれた住環境であったことがうかがえます。古墳時代になると、狛江の地には70基ほどの古墳が集中して造られました。これらの古墳は「狛

江百塚」と総称され、今に伝わる古墳は狛江の特色の一つになっています。本市は、面積が6・39㎢と全国で2番目に小さい市です。市域は狭いですが、北に野川、南に多摩川が流れ、狛江駅前には豊かな緑が保たれており、水と緑に恵まれているまちです。都心へのアクセスも良く、快適な住環境は多くの人を惹き付け、住宅都市として発

展してきました。また、市内には多くの農地があり、住宅都市である一方で都市農業も盛んです。直売所などで販売される安心安全で新鮮な「狛江ブランド

農産物」は、早々に売り切れてしまっ

まうほど市内外で高い評価を得ています。

絵手紙発祥の地ー狛江

絵手紙発祥の地ー狛江

昭和56年、狛江郵便局にて日本で初めての絵手紙教室が開催されたことを発端に絵手紙文化が広まり、本市は「絵手紙発祥の地」として絵手紙を通じたまちづくりを進めています。市の玄関口である小田急線狛江駅では、降り立つ人を縦4m・横3mの「巨大絵手紙」が温かく出迎えています。現在掲出しているデザインは、絵手紙創始者で狛江市名誉市民でもある小池邦夫氏が市制施行50周年に合わせ書き下ろした作品です。

市内を巡ると、絵手紙でラッピングされたコミュニティバス「こまバス」が走り、絵手紙マンホールや絵手紙ロードシートが設置され、市内各所の「絵手紙街角ギャラリー」に飾られた四季折々の絵手紙が道行く多くの方の目を楽しませていきます。絵手紙はその活動を通じて市内のみならず、全国の愛好家とつながり、地域全体を盛り上げています。

**ゼロカーボンシティ
シナリオを策定**

本市では、令和3年3月26日にゼロカーボンシティを表明し、実現に向けて「温室効果ガスの排出



安心安全な食を届ける狛江ブランド農産物

また、市内には多くの農地があり、住宅都市である一方で都市農業も盛んです。直売所などで販売される安心安全で新鮮な「狛江ブランド

市内を巡ると、絵手紙でラッピングされたコミュニティバス「こまバス」が走り、絵手紙マンホールや絵手紙ロードシートが設置され、市内各所の「絵手紙街角ギャラリー」に飾られた四季折々の絵手紙が道行く多くの方の目を楽しませていきます。絵手紙はその活動を通じて市内のみならず、全国の愛好家とつながり、地域全体を盛り上げています。

市内を巡ると、絵手紙でラッピングされたコミュニティバス「こまバス」が走り、絵手紙マンホールや絵手紙ロードシートが設置され、市内各所の「絵手紙街角ギャラリー」に飾られた四季折々の絵手紙が道行く多くの方の目を楽しませていきます。絵手紙はその活動を通じて市内のみならず、全国の愛好家とつながり、地域全体を盛り上げています。

市内を巡ると、絵手紙でラッピングされたコミュニティバス「こまバス」が走り、絵手紙マンホールや絵手紙ロードシートが設置され、市内各所の「絵手紙街角ギャラリー」に飾られた四季折々の絵手紙が道行く多くの方の目を楽しませていきます。絵手紙はその活動を通じて市内のみならず、全国の愛好家とつながり、地域全体を盛り上げています。



ほこみち社会実験「KOMAEわくわくストリート」

歩行空間創出プロジェクト
 狛江駅は、1日およそ3万9000人が利用する市の中心拠点である一方で、駅を出てすぐ東京都指定の特別緑地保全地区の竹林が広がるという、恵まれた景

歩行空間創出プロジェクト

削減量」「再生可能エネルギーの導入目標」「必要な施策」を取りまとめた、ゼロカーボンシナリオを令和4年9月に策定しました。温室効果ガス排出削減量の目標は、2030年度に2013年度比で54%削減、2050年度に排出実質ゼロと設定しています。限られた資源を有効活用するため、省エネ・再エネ設備導入補助の拡充ではリース機器のほか、事業者も補助対象としており、公共施設への100%再生可能エネルギー電気導入も順次拡大しています。本年度からは、長野県茅野市と連携し、森林環境譲与税を活用したカーボン・オフセットにも取り組んでいます。



多世代・多機能型交流拠点「ふらっとなんぶ」

多世代・多機能型交流拠点です。今年3月に開設された「ふらっとなんぶ」は、市が空き家を借り上げ、子どもから高齢者まで地域住民が誰でもいつでも気軽に集い、ゆるやかに出会い、関わり合うことのできる居場所として開設した

多世代・多機能型交流拠点「ふらっとなんぶ」

観を有しています。本年度、狛江駅の高架下商業施設が改修予定であることを受けて、商業施設と隣接する市道を一体的な空間として活用するための「ほこみち（歩行者利便増進道路）」の導入と、賑わいと憩いが共存する狛江駅周辺エリアの特性を踏まえた空間整備を、地域の関係者や鉄道事業者などと連携して進めています。

プロフィール

「ふらっとなんぶ」では、住民主体の地域課題への解決力の強化と、地域における高齢者・障がい者・子育て世帯への支援機能の充実を図ることを目的とした事業を実施しています。団体に加入していない、地域に知り合いがない方でも「ふらっと」立ち寄ることのできる交流スペースや、イベントなどによる世代間交流によ

て、市民が互いに支え合いながら、自分らしく活躍できる地域づくりを促進しています。相談機関や地域住民と連携して地域課題の把握・解決を図るためにも、包括的な支援体制の整備を推進し、狛江市第4次基本構想で掲げる「いつまでも健やかに暮らせるまち」として、狛江らしい地域共生社会を実現してまいります。



狛江市長 松原俊雄

〔将来都市像〕ともに創る 文化育むまち 水と緑の狛江
 〔まちの特徴〕自然に恵まれ古墳などの歴史遺産も多く残されるほか、「絵手紙発祥の地」「音楽の街」として数々のイベントを開催する、自然、歴史、芸術文化が融和したまち
 〔特産品〕枝豆、枝豆発泡酒「こまえく」などの枝豆の各製品、ブルーベ



リ、狛江ブランド農産物
 〔観光〕猪方小川塚古墳公園、亀塚古墳公園、土屋塚古墳公園、兜塚古墳、狛江市立古民家園、狛江市まるごと美術館
 〔イベント〕狛江古代カップ多摩川いかだレース、狛江市民まつり、多摩川流域郷土芸能フェスティバル、こまえ初春まつり、こまえ桜まつり

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち

弥富市は、東西が約9km、南北が15kmと縦に長く、海拔ゼロメートル地帯が市内全域に広がる極めて平坦な地形を有する、木曾川下流に開拓された水郷地帯です。

名古屋市の西側20km圏内に位置し、南部は名古屋港西部臨海工業地帯を経て名古屋港の港湾海域に臨み、西側は三重県に隣接してい

ます。

北部は、名古屋市へ電車で15分の距離にあるベッドタウンとしての都市生活ゾーン、中部は金魚や農業などの田園水郷ゾーン、南部はアジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区をはじめハイレベルな港湾ゾーンとして位置付け、港湾部に広がるふ頭の整備促進や伊勢湾岸自動車道、中部国際空港と近接する好立地を生かしたまちづくりを進めています。

日本有数の金魚の産地

本市は日本有数の金魚の産地として広く知られています。弥富金魚は、江戸時代の終わりごろに大和郡山から



日本有数の産地を誇る弥富金魚

伝わり、約150年の歴史があります。清流木曾川の恵みを含んだ土壌は金魚養殖には最適であり、明治以降、農業の副業として養殖が広がりました。流通量は全国一を誇り、流通拠点としてもわが国に有数の市場となりました。特に生産種類が豊富で日本観賞魚振興事業協同組合認定品種約30種類のうち、弥富市は27種類がそろった一大産地としても有名です。

人と地域の資源を生かし、にぎわいを生み出すまち

令和4年4月には、歴史民俗の探求、金魚や市の観光資源の情報発信、市民協働活動に興味を持つ人呼び込みのための玄関口として、旧図書館棟を「弥富まちなか交流館」としてリニューアルオープンし、観光協会事務局と歴史民

俗資料館を同館1階に移転しました。ふれあいコーナーでは約20種類の弥富金魚の展示や餌やりに加え、おもてなし職員として人気を集める白文鳥の「ぶんちゃん」や桜文鳥の「さくら」との触れ合いを楽しむことができます。来館者の癒やしとなっています。

同年10月には、同館1階ロビーに「弥富金魚水族館 (YATOMI AQUA)」がオープンし、10基の水槽群の中に色鮮やかな金魚を展示しています。常設の金魚すくいコーナーを設置し、気軽に金魚すくいを楽しむことができ、観光と歴史の融合という新たな切り口でにぎわいを生み出しています。

また、新たなにぎわいの場として、令和4年4月に名古屋競馬場が名古屋市から本市へ移転してまわりました。「第1回弥富記念」を冠したレースの開催や愛知県競馬組合や金シャチ名古屋競馬場PFI株式会社と連携し、競馬開催日以外の土日に開催されたイベントでは、本市も金魚すくいなどで参



令和9年度事業完了を目指すJR・名鉄弥富駅整備事業

方などの利便性を高めるバリアフリーに配慮した交通結節点の整備を事業目的として、令和9年度の事業完了に向けて整備を進めています。また、都市拠点となる弥富駅周辺の取り組みについては、本市の玄関口となる区域であ



おもてなし職員として人気の白文鳥「ぶんちゃん」

加し、にぎわいの創出をしてみたいです。引き続き競馬ファンはもとより、それ以外の方にも本市に来て、楽しんでいただけるよう、本市の魅力を積極的に発信し、関係人口の創出にも取り組んでまいります。

良好な都市基盤が整った 便利で快適に暮らせるまち

本市総合計画の重点施策に位置付けられる「JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業」なら

びに「弥富駅北口駅前広場等整備事業」は、鉄道により南北に分断された地区の連携強化、駅東西の踏切を通行する歩行者、自転車の安全確保と高齢者・障がいのある

り、駅周辺の一体的なまちづくりを推進し、誰もが便利で快適に暮らせるまちの実現に向けて、弥富駅中央駅前広場を中心とした周辺整備の検討を進めています。本市南部の臨海地区である弥富

ふ頭と鍋田ふ頭は、総取扱貨物量が20年連続日本一を誇る名古屋港の一翼を担っています。市の発展を握る重要施策として、早期に鍋田ふ頭第4・第5バース整備事業が実現され、港湾機能が強化されるよう、関係機関とも連携しながら整備促進を推進していきます。



耐震強化岸壁を備えた鍋田ふ頭

いつまでも住み続けたい 安全・安心なまち

想定される大規模災害に備える

ため、本市の地理的特徴による浸水被害の発生が懸念されていることを十分に踏まえ、緊急時避難場所の確保や広域避難に関する協定など、各種災害協定の締結を推進しています。

令和3年1月に愛知学院大学と「浸水時における広域避難に関する協定」を締結し、本年2月にこの協定に基づき同大学日進キャンパスへの広域避難訓練を実施しま

した。本市がどんなに輝かしい未来に向かおうと、忘れてはならないのは、昭和34年の伊勢湾台風において、一夜にして多くの尊い命・財産を失った経験です。今後、危惧される南海トラフ地震やスーパー伊勢湾台風などの大規模災害から市民の生命・財産を守り、市民一人一人が豊かな人生を送ることができるよう、寄り添ってまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 49・11km²
- ◆ 人口 4万3819人
- ◆ 世帯数 1万8590世帯

〔将来都市像〕地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富

〔まちの特徴〕木曾川下流の豊かな自然環境と、鉄道や広域道路網が充実した都市の利便性の調和がとれたまち

〔市町村合併〕平成18年4月1日 弥富町と十四山村の1町1村が合併



弥富市長
安藤正明



〔特産品〕金魚、米、トマト、三つ葉、ナス、カリフラワー、イチジク、観葉植物、鉢花、切り花

〔観光〕服部家住宅、森津の藤、三ツ又池公園、海南こどもの国、弥富野鳥園、名古屋競馬場

〔イベント〕やとみ桜まつり、やとみ桜並木夜桜ライトアップ、やとみ青空市、藤見の会、やとみ夏まつり、金魚まつり、金魚日本一大会、やとみ秋まつり

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

全ての自治体へ向けて 「続ける」ために「変える」

自然と歴史に満ちたまち

安芸高田市は、2004年に広島県の旧高田郡6町が合併して誕生しました。中国地方の中央部に位置し、山々に囲まれた土地には瀬戸内海と日本海それぞれにつながる支流が流れており、緑と水が

調和した落ち着いた景観と なっています。

本市は戦国武将「毛利元就」が生涯を過ごした地としての歴史を持ち、元就の居城であった郡山城（こがのやま）は日本100名城に選定されています。元就が残した「三矢の訓」はサン・フレッツェ・広島の名前の由来となっており、その縁から市内にサンフレッツェ島の練習場やユースの寮を擁しています。また、伝統芸能の神楽が有名で、演劇性と躍動感が特徴の本市の神楽は老若

男女を問わず多くの人を魅了しています。

20年後の危機

本市にとって最大の課題は、財政の持続性です。他の多くの自治体と共通する課題ですが、少ない人口（2.7万人）、低い人口密度（50人/㎢）、高い高齢化率（42%）などから、本市の財政はすでに危機的状況となっています。

さらに、今後も人口減少と高齢化は続くため、人口動態による地方交付税の減少と扶助費の増加によって、20年後には財政から38億円の裁量が見込みです。20年で財政を調整していくとしても毎年1.9億円の緊縮が必要となる計算ですが、市の予算規模（200億円程度）を踏まえると相当の負担といえます。

危機への対処

加えて、20年後に向けては公共施設や上下水道・道路といったインフラが更新時期を迎えるため、その費用も財政を圧迫する要因となります。更新費用は毎年数十億円に上ると見られ、全てを更新できないのは誰の目にも明らかです。

こうした危機を乗り越えるには、公共施設の削減や市のコンパクト化が必須となります。公共施設等総合管理計画を見直すとともに、都市計画マスタープランに基づいたコンパクトシティの推進に着手しました。公共施設について、市は2015年時点で「総延床面積を20年間で30%以上削減」という目標を掲げていましたが、2020年時点で4%にとどまっておらず、圧縮を急がなければならぬ事態となっています。

無論、歳出の見直しは欠かせません。予算編成においては、行政サービスの基本となる公共性、公平性、効率性の観点で全ての事



郡山と麓の吉田町



伝統文化の神楽



各町で開催した財政説明会

務・事業を自ら点検し、歳出の抑制に取り組んできました。事務に関しては根本的な在り方から問い直し、開庁時間の短縮なども含んだ効率化を図っています。各種事業においては費用対効果を検証し、優先順位をつ

けた予算の配分に徹しています。その際、事業の廃止は必然です。全体を少しずつ縮小するだけでは、もはや、やりくりができない状態となっています。補助金事業も例外ではなく、個々の存廃から検討しました。また、適切な受益者負担となるようさまざまな料金を見直し、一般会計から上下水道事業に向けた毎年の繰出金(8億円)を削減するため、上下水道料金の引き上げに踏み込みました。

未来への突破口

このように守りを固める一方で、攻めの形も整えています。攻めの要となるのは市の特色である

毛利元就、サンフレッチェ広島、神楽です。本年は毛利元就が郡山城に入城して500年の節目に当たるため、市内外の方々が参加できる事業を幾つも企画しています。サンフレッチェ広島については、道の駅で全試合(Jリーグ)のパブリックビューイングを実施するという県内初の取り組みを通して、より一体感が高まる環境を整えました。神楽は市外での公演を増やすべく、公民を問わずあらゆる分野で上演の機会を模索しています。5月には大阪のメルパルクホールで公演を行う予定であり、たくさんの方々に楽しんでいただけると期待しています。



パブリックビューイングでサンフレッチェ広島を応援

次世代に可能性を

全ては本市を残すための取り組みです。「続ける」ためには、「変える」しかありません。そして、もろもろの改革に必要なのは、何よりも市民の意識改革です。財政に関しては、市民へ向けた説明会を開催し、広報誌でも内容を報じましたが、その際には「つきりと」「このままでは財政が行き詰まる」

と20年後の危機を伝えました。現実を直視しなければならぬ局面へすでに入っています。様子見や問題の先送りはいずれ許されません。この状況はほとんどの自治体で共通するはずですが、だからこそ、本市が変われば、日本も変わると信じています。変化は可能性の源です。私たち世代の責任として、次世代にできる限りの可能性を残したいと思います。

プロフィール

- ◆ 面積 537.71 km²
- ◆ 人口 2万6931人
- ◆ 世帯数 1万3303世帯

〔まちの特徴〕中国山地に位置し瀬戸内海と日本海の分水嶺が存在する、緑が豊かなまち

〔市町村合併〕平成16年3月1日、吉田町、八千代町、美土里町、高宮町、甲田町、向原町の6町が合併

〔特産品〕夜叉うどん、ゆず加工製品、



安芸高田市長
石丸伸二



米・酒米・もち米、ネギ、三矢えびす茶(はぶ草茶)
〔観光〕神楽公演、毛利氏ゆかりの史跡、サッカー公園(サンフレッチェ広島の練習場)、温泉、キャンプ場
〔イベント〕高校生の神楽甲子園、花田植え、ツールドあきたかた、サンフレッチェ広島パブリックビューイング、BMX大会、カヌー大会

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。